



発行所
蒲郡新聞社
蒲郡市旭町9番地9
〒443-0045
電話・FAX (0533) 68-2684

土曜・日曜回線相談会
毎月土・日曜開催(本店内)
祝日は開催
いたしません
午前9時～午後5時
(神明町12-20)
ご予約・お問合せは
フリーダイヤル
0120-386-041

ふれあいと
信頼の窓口
三河信用組合

共産、柴田氏が副議長に

ともに25年ぶりのくじ引きで

議長は市政の波多野氏



くじを引く波多野氏(左)、伊藤氏



柴田 安彦 氏



波多野 努 氏

改選後初となる蒲郡市議会五月臨時会が十二日開会、議長に市政クラブの波多野(8期、55)が決まった。

議長選の投票結果は市政・波多野氏と公明党市議団の伊藤勝美氏が十票対十票の同数となり、抽選で波多野

蒲 郡 市 議 会

氏が就任した。副議長選でも共産・柴田氏と公明・松本昌成氏が議長選と同じく十票ずつを獲得、抽選となった。

波多野氏は九八年に初当選、現在五期。監査委員、総務・文教・経済の各常任委員長を歴任、〇八年には副議長を務めた。責任の重さを痛感している。市民の負託に心え、建設的で市民に分かりやすい議会を目指すと語った。

柴田氏は八六年に初当選、現在八期。監査委員、総務委員会委員長などを歴任している。東三河では共産党

議員が副議長に就任するのは初めて。議会は二元代表制の一つ。しっかり行政のチェック機能を果たし、緊張のある関係を保っていきたい。民主的な議会運営にも心がけたい」と述べた。

改選前には協力関係に

あった市政クラブと公明党が議長人事を巡り対立したのが今回の発端。市政は党派の中では唯一、副議長に手を上げた柴田氏と協力、一方、公明は新人四人で組織する無所属の会、市民の会蒲郡などに協力を求めた。

副議長に就任した柴田氏は「名古屋市のように議会を軽視する動きがある。首長と議会という二元代表制を守っていくためにも、議会がしっかり役割を果たしていくことで存在感を示したい。議会が政策立案能力を高めるためには議員研修の条例化も必要だ」と意欲

を示した。

抽選で議長・副議長を逃した公明・伊藤氏は「今回のことで新人のみなさんと対話できたことは大きな成果。議会にインパクトを与え、大きな布石となった」と振り返った。

市政クラブの鎌田篤司会長は今後の議会運営について「柴田氏とは考え方が違うところもあるが長年、議会活動をともにしてきた信頼している。公明党とは関係修復に努めていくが、市政をよくしたいということでは同じ。心配していない」と語った。

同市議会では一九八六年に保守系党派・市政クラブと同志クラブの二派が議長を擁立、同数で抽選となった。しかし議長、副議長ともに抽選で決定したのは今回が初めてのケース。